鎌倉時代

名前

問1　13世紀後半に起きたモンゴル帝国の襲来（元寇）において、武士たちは防衛に成功しましたが、その後の鎌倉幕府の支配体制は大きく揺らぐことになりました。その理由として最も適切な説明はどれか、次の中から選びなさい。（2025年 山口県公立入試 類似）

1. 外国との防衛戦であったため、新たに恩賞として与える土地が不足し、軍役を果たした御家人の不満が高まったから。
2. 元軍の圧倒的な武力の前に、鎌倉幕府が降伏に近い和睦を結び、多額の賠償金を支払ったから。
3. 防衛のために西国へ赴いた武士たちが、その土地の有力な農民と結びついて、幕府から独立したから。
4. 元寇の混乱に乗じて後醍醐天皇が建武の新政を開始し、幕府から政治の実権を直ちに取り戻したから。

問2　鎌倉時代が成立してから約1世紀が経過した13世紀後半の対外関係について、当時の出来事を正しく説明したものを次の中から選びなさい。（2017年 静岡県公立入試 類似）

1. 隋が周辺諸国を征服し、聖徳太子が派遣した小野妹子らを通じて日本の服属を求めた。
2. 明が日本に対して勘合貿易を要求し、足利義満がこれに応じて対外交流を深めた。
3. 清が中国全土を支配下におき、鎖国を行っていた江戸幕府に対して開国を迫った。
4. モンゴル帝国が国号を元と改め、二度にわたって日本への襲来を行った。

問3　日本の歴史における僧侶の活動について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2026年 和歌山県公立入試 類似）

1. 平安時代に行基が大仏造立に協力し、鎌倉時代に鑑真が正しい戒律を伝え、その後に道元が曹洞宗を開いた。
2. 鎌倉時代に鑑真と行基が協力して新しい仏教を広め、室町時代に入ってから道元が座禅による修行を説いた。
3. 奈良時代に行基が民衆への布教や社会事業を行い、鑑真が来日して戒律を伝えたのち、鎌倉時代に道元が座禅を重視する禅を広めた。
4. 奈良時代に道元が中国から帰国して禅を伝え、平安時代に行基が布教を行い、鎌倉時代に鑑真が唐招提寺を建立した。

問4　1232年、3代執権の北条泰時が「御成敗式目」を制定した背景として、最も正しい説明はどれですか。（2022年 福島県公立入試 類似）

1. 源頼朝の死後、源氏の血筋が途絶えたことで、将軍に代わる新しい統治者を決める必要があったため
2. 承久の乱のあと、新しく任命された地頭と従来の領主との間で土地をめぐる争いが増えたため
3. 天皇を中心とした律令制度を復活させ、公家と武士が共同で政治を行う仕組みを整えるため
4. 幕府の拠点を鎌倉から京都へ移し、朝廷の政治文化を積極的に取り入れるため

問5　鎌倉幕府が「六波羅探題」という役職を設置した背景とその目的について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 岐阜県公立入試 類似）

1. 執権政治を確立した北条氏が、有力な御家人の不満を抑えるために幕府の財政管理を厳格化するため。
2. 承久の乱に勝利した幕府が、朝廷を監視し、西日本における支配を強めるため。
3. 元（モンゴル帝国）の襲来に備えて、九州地方の防衛を強化し、沿岸部の警備を固めるため。
4. 平氏を滅ぼした源頼朝が、京都の治安を維持し、天皇から征夷大将軍に任命されるのを待つため。

問6　鎌倉時代に栄西が中国（宋）から伝え、座禅を組んで師からの問いに答えながら修行する、幕府や武士に重んじられた宗派を何といいますか。（2016年 岡山県公立入試 類似）

1. 浄土宗
2. 曹洞宗
3. 臨済宗
4. 真言宗

問7　鎌倉時代、武士の力強さを反映した文化が栄えました。東大寺南大門に安置されている、運慶や快慶らによって制作された、躍動感あふれる写実的な仏像彫刻を何といいますか。（2018年 千葉県公立入試 類似）

1. 阿弥陀如来像
2. 弥勒菩薩像
3. 釈迦三尊像
4. 金剛力士像

問8　鎌倉時代の社会を支えた「御恩と奉公」の関係について、御家人が「奉公」を行う前提となった、将軍による最も基本的な「御恩」の説明として正しいものはどれですか。（2017年 岩手県公立入試 類似）

1. 御家人がもともと支配していた領地の権利を、将軍が改めて認めて保障すること
2. 一族の中で最も功績のあった者を、幕府の最高役職である執権に任命すること
3. 全国の主要な港での関税を免除し、御家人が自由に貿易を行えるようにすること
4. 御家人が他国の武士と争いになった際、将軍が必ず御家人の主張を認めること

問9　元寇の際、御家人たちは異国の襲来を防ぎましたが、幕府は防衛戦であったため新たな領地を獲得することができませんでした。この結果、戦功を挙げた御家人に対して十分におこなうことができず、御家人の困窮を招いた処置は何ですか。（2026年 宮崎県公立入試 類似）

1. 守護・地頭の全国への設置
2. 御家人への十分な恩賞の支給
3. 御成敗式目の制定による裁判の公正化
4. 徳政令の発令による借金の帳消し

問10　鎌倉時代の新しい仏教とそれに関連した文化の広まりについて述べた文として、正しいものはどれか。当時の寺院が新しい茶の製法を伝え、それが武士の間に広まった背景をふまえて選びなさい。（2021年 長野県公立入試 類似）

1. 栄西が宋から持ち帰った座禅の教えは、抹茶を飲む習慣とともに、寺院を通じて武士の間に広まった。
2. 親鸞が説いた悪人正機の教えは、茶の栽培技術の普及とともに、西日本の大名を中心に広まった。
3. 法然が伝えた念仏の教えは、厳しい修行を求めるものであったため、知識人の間だけで流行した。
4. 日蓮が唱えた題目の教えは、宋から伝わった新しい茶の製法とともに、幕府の公認をいち早く受けた。

問11　1221年に起こった承久の乱ののち、鎌倉幕府が朝廷の監視や西国の武士を統制するために、京都に新しく設置した役職を選びなさい。（2024年 茨城県公立入試 類似）

1. 老中
2. 六波羅探題
3. 太政官
4. 管領

問12　一遍の生涯を描いた絵巻物などの資料には、僧侶や民衆が太鼓などの拍子に合わせてステップを踏みながら、阿弥陀仏の名を唱えて舞い踊る様子が記録されています。時宗を象徴するこの布教活動を何と呼びますか。（2018年 山形県公立入試 類似）

1. 座禅
2. 題目の唱和
3. 加持祈祷
4. 踊り念仏

問13　鎌倉時代の第3代執権であった北条泰時が、御家人たちによる土地をめぐる裁判を公平に行うために制定した、武士社会のための最初の法律は何ですか。（2018年 京都府公立入試 類似）

1. 公事方御定書
2. 十七条の憲法
3. 御成敗式目
4. 武家諸法度

問14　13世紀後半に起こったモンゴル帝国の襲来（元寇）において、1274年の最初の襲来（文永の役）の後、鎌倉幕府が再度の襲来に備えて博多湾の海岸沿いに築いた、防御のための構造物は何か。（2023年 和歌山県公立入試 類似）

1. 石造りの防塁（石築地）
2. 山城（やまじろ）
3. 五稜郭
4. 水城（みずき）

答え合わせ・解説

問1	答え 1 外国との防衛戦であったため、新たに恩賞として与える土地が不足し、軍役を果たした御家人の不満が高まったから。	鎌倉幕府の主従関係は、将軍が領地を保証する「御恩」と、武士が軍役を果たす「奉公」の交換で成り立っていました。しかし、元寇は侵略を防ぐ防衛戦争であり、勝利しても敵から奪った土地がなかったため、幕府は命がけで戦った武士（御家人）に十分な恩賞を与えることができませんでした。これにより武士たちは困窮し、幕府への不信感を強め、後の幕府滅亡の遠因となりました。承久の乱や建武の新政は時期や背景が異なる出来事です。
問2	答え 4 モンゴル帝国が国号を元と改め、二度にわたって日本への襲来を行った。	鎌倉幕府が成立した12世紀末から時代が進み、13世紀後半になると、大陸ではモンゴル帝国の勢力が拡大しました。フビライ・ハンは国号を「元」とし、日本に服属を求めて使節を送りましたが、幕府がこれを拒否したため、1274年（文永の役）と1281年（弘安の役）の二度にわたり、九州北部への襲来が引き起こされました。
問3	答え 3 奈良時代に行基が民衆への布教や社会事業を行い、鑑真が来日して戒律を伝えたのち、鎌倉時代に道元が座禅を重視する禅を広めた。	奈良時代、行基は橋の建設などの社会事業を通じて民衆に仏教を広め、聖武天皇による東大寺の大仏造立にも協力しました。同じ奈良時代、唐から鑑真が渡来し、僧侶が守るべき規範である「戒律」を伝え、日本における仏教制度を整えました。これに対し、道元は鎌倉時代に中国での修行を経て曹洞宗を日本に伝え、ひたすら座禅を組む「禅」の教えを広めました。活動時期の順序としては、奈良時代の行基・鑑真から鎌倉時代の道元へと続きます。
問4	答え 2 承久の乱のあと、新しく任命された地頭と従来の領主との間で土地をめぐる争いが増えたため	承久の乱の結果、幕府は西日本にも多くの地頭を任命しましたが、これにより各地で土地の支配権をめぐるトラブルが急増しました。北条泰時は、御家人たちに公平な裁判の基準を示すことで、これらの混乱を鎮め、北条氏による執権政治の基盤を安定させようと考えました。
問5	答え 2 承久の乱に勝利した幕府が、朝廷を監視し、西日本における支配を強めるため。	承久の乱は、朝廷が幕府を倒そうとして失敗した事件です。これを受けて幕府は、二度と同じような反乱が起きないよう、京都に拠点を置いて朝廷の動向を常に把握する仕組みを作りました。これが六波羅探題の設置であり、この機関を通じて幕府の権力は西日本へと大きく拡大することになりました。
問6	答え 3 臨済宗	栄西によって伝えられたこの宗派は、禅宗の一つであり、座禅を組みながら「公案」と呼ばれる師からの問題を解くことで悟りを目指します。自律的な修行を重視する姿勢が、当時の武士の精神に合致したため、鎌倉幕府に厚く保護されました。
問7	答え 4 金剛力士像	鎌倉時代の文化は、新興の武士や民衆の気風を反映し、素朴で力強いという特徴があります。東大寺南大門の金剛力士像は、運慶や快慶らの仏師集団（慶派）によって制作され、その写実的な筋肉の表現は鎌倉彫刻の代表作とされています。一方、阿弥陀如来像は平安時代、弥勒菩薩像は飛鳥時代、釈迦三尊像は飛鳥時代の代表的な作風を反映しています。
問8	答え 1 御家人がもともと支配していた領地の権利を、将軍が改めて認めて保障すること	御家人が命がけで「奉公」に励んだのは、将軍が自分の領地（本領）の支配を保障してくれたからです。これを「本領安堵（ほんりょうあんど）」と呼びます。また、手柄を立てた際に新しい領地を与えられる「新恩給与（しんおんきゅうよ）」も御恩に含まれます。このような土地を媒介とした双方向の契約関係が、鎌倉時代の武士社会の基盤となっていました。執権は北条氏が独占した役職であり、貿易の自由化などはこの時代の制度とは異なります。
問9	答え 2 御家人への十分な恩賞の支給	承久の乱では朝廷側の領地を没収して御家人に恩賞として与えることができましたが、元寇は外国からの防衛戦であったため新たな領地を獲得できませんでした。その結果、幕府は御家人に対して十分な恩賞を与えることができず、御家人の生活が困窮する原因となりました。
問10	答え 1 栄西が宋から持ち帰った座禅の教えは、抹茶を飲む習慣とともに、寺院を通じて武士の間に広まった。	栄西は禅の教えとともに、中国から茶の種を持ち帰り、新しい茶の製法（抹茶）を日本に伝えました。寺院を中心に広まった喫茶の習慣は、精神の集中を重んじる禅の修行とも結びつき、やがて武士の間に流行して日本の伝統的な茶道へとつながる文化の基礎となりました。
問11	答え 2 六波羅探題	承久の乱で幕府軍が朝廷軍に勝利した結果、幕府の支配力は西日本まで大きく広がりました。それまで京都に置かれていた京都守護を廃止し、新たに六波羅探題を設置することで、朝廷の動きを常に監視し、西国の地頭や御家人を統括する体制を整えました。
問12	答え 4 踊り念仏	一遍が始めた「踊り念仏」は、念仏を唱える喜びを身体全体で表現するものであり、集団で熱狂的に踊る姿は当時の人々に大きな衝撃と共感を与えました。この手法は、後の盆踊りなどの民俗芸能の成立にも大きな影響を与えたと言われています。選択肢にある「座禅」は曹洞宗や臨済宗（禅宗）、「題目の唱和」は日蓮宗（法華宗）の特徴です。
問13	答え 3 御成敗式目	承久の乱の後、地頭として全国に派遣された御家人と、現地の領主との間で土地をめぐる紛争が急増しました。北条泰時は、それまで曖昧だった裁判の基準を明確にするため、武士の社会で行われていた慣習や道徳をもとにこの法律を制定しました。別名を「貞永式目」とも呼びます。
問14	答え 1 石造りの防塁（石築地）	1274年の文永の役の後、鎌倉幕府は元軍の再来に備えて、現在の福岡県にある博多湾の海岸約20kmにわたって石造りの壁を築きました。これが1281年の弘安の役において、元軍の組織的な上陸を阻止する大きな役割を果たしました。水城は7世紀の白村江の戦い後に築かれたものであり、時代が異なります。